

NPO法人アイカス主催
2025年度地域日本語教育プログラム公開講座

学習者が自分の思いを述べるための文法
～ 地域日本語教育の再考 ～

一橋大学教授庵 功雄先生に、日本語文法と地域日本語教育について講演いただきます。

日時	2025年9月6日（土）13:30～15:30
場所	仙台市戦災復興記念館 4階研修室
対象者	地域日本語ボランティア・日本語講師・日本語教育に関心がある方
参加費	無料
定員	先着40名
申込み	下記URLまたは右のQRコードから申込み https://forms.gle/DA21R7c9GZEXw5W36
問合せ	E-Mail icas.nihongo2025@gmail.com アイカス教育担当：石原
申込締切	8月15日（金）



【講師より】

「文法」は、第二言語で自分の考えを述べるために不可欠の道具であり、暗記の対象ではありません。今回は、出来事の参加者の立場を表す文法表現である、受身、使役、授受（やりもらい）を対象に、これらの形式を使ってどのような内容を述べることができるのか、学習者の母語による特徴にはどのようなものがあるか、それぞれの形式の難易度はどのように考えるべきか、といったことについて具体的に考えていきたいと思います。



講師：庵 功雄 氏

【プロフィール】

大阪大学文学研究科博士課程修了（博士(文学)）
大阪大学文学部助手、一橋大学留学生センター専任講師などを経て
現在、一橋大学国際教育交流センター教授。
専門は、日本語教育、日本語学。

【主な著書】

- ・『初級を教える人のための日本語ハンドブック』
（共著、スリーエーネットワーク 2000年、2001年）
- ・『一步進んだ日本語文法の教え方 1, 2』
（くろしお出版2017年、2018年）
- ・『日本語これだけ！ 1, 2』（監修、ココ出版2010年、2011年）
- ・『新しい日本語学入門(第2版)』（スリーエーネットワーク 2012年）
- ・『やさしい日本語』（岩波新書2016年）

主催：NPO法人アイカス国際都市仙台を支える市民の会（ICAS）
協力：公益財団法人 仙台観光国際協会（SenTIA）